

令和8年7月1日

各 位

会社名 株式会社アイビー化粧品
代表者名 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 経営管理部 Manager
役職・氏名 中山 聖仁
電 話 03-6880-1201

中東情勢の緊迫化による影響（続報2） および業績予想の修正に関するお知らせ

米国とイランとの戦闘終結合意覚書も締結されましたが、現状において不安定な合意に過ぎず、ホルムズ海峡を民間船舶が安全に通行できる状態にはなっておらず、原油・ナフサ等を主原料とする石油化学製品およびアルミ製品等の調達環境の厳しい状況は継続しております。

そういった中でも、令和8年6月16日開示資料「中東情勢の緊迫化による影響（続報）」のお知らせに記載しましたとおり、当社は、年度内（令和9年3月期）必要な生産予定数量の原材料確保が出来ております。また、50周年記念新製品につきましては、令和9年3月期第4四半期（有償先行分は令和9年3月期第3四半期）に発売することと致します。

つきましては、最近の業績動向も踏まえ、50周年記念新製品の発売も加味し、令和8年5月14日に公表致しました業績予想を、下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

記

令和9年3月期通期 業績予想数値の修正（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,640	200	200	140	17.15
今回発表予想(B)	2,800	330	330	250	34.30
増減額(B-A)	160	130	130	110	
増減率(%)	6.1	65.0	65.0	78.6	
(ご参考)前期実績 (令和8年3月期 通期)	2,641	195	192	164	22.45

(注)1株当たり当期純利益の計算は、普通株式の期中平均株式数を計算しております。また、当期純利益からA種優先配当の会計期間に係る支払想定額を控除しております。

修正の理由

令和9年3月期の業績見通しにつきましては、令和8年5月14日に開示した時点においては、前提条件として、中東紛争の影響でホルムズ海峡が年を越えて封鎖されたままだった場合で予想しておりました。(ご参考 令和8年5月14日付開示資料「中東情勢の緊迫化による影響および令和9

年3月期の業績予想についてのお知らせ)その場合、50周年記念大型スキンケア製品については、状況が不透明だったため、令和9年3月期の業績予想には織り込んでおりませんでした。

その後、令和8年6月16日付開示資料「中東情勢の緊迫化による影響(続報)のお知らせ」に記載しましたとおり、既存製品については年度内(令和9年3月期)必要な生産予定数量の原材料確保が出来ております。また、50周年記念製品(大型スキンケア製品)の原材料調達も可能となりましたので、令和9年3月期第4四半期に発売出来る見通しとなりました。

当年度は当社創立50周年を迎える年度であり、50周年記念製品発売を販売組織も心待ちにしておりました。発売年月については令和9年3月期第4四半期(有償先行分は令和9年3月期第3四半期)を想定しており、今年度下期の売上高は、新製品を中心に、活況が予想されます。

以上の状況を踏まえ、令和9年3月期第2四半期業績予想につきましては、従来予想を据え置きます。令和9年3月期通期業績予想につきましては、売上高予想 2,640 百万円を 2,800 百万円に、営業利益予想 200 百万円を 330 百万円に、経常利益予想 200 百万円も 330 百万円に修正致します。当期純利益予想につきましては、140 百万円を 250 百万円に修正致します。

(将来に関する記述等についての注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上